

(株)アイ・エス・ソリューション 浄化工事大型案件実績

地域	浄化対象物質	浄化面積 (m ²)	最大深度 (m)	浄化土量 (m ³)	浄化工法	法対応	浄化完了までの 工期
九州	鉛、シアン、ふっ素	4,600	4	5,900	掘削除去	○	4ヶ月
関東	ふっ素、砒素、鉛、 水銀	1,800	3	5,000	掘削除去	○	現在進行中 (予定 5ヶ月)
関東	テトラクロロエチレン と分解生成物	900	13	7,500	表層部 ホットソイル工法 深層部 揚水と酸化剤注入の併用 工法 敷地境界部 バイオスティミュレーシ ョン工法	行政指導に基づいた 自主対策	12ヶ月
中部	テトラクロロエチレン と分解生成物	2,000	11	16,400	汚染源 酸化剤の攪拌混合工法 拡散域 酸化剤注入工法	行政指導に基づいた 自主対策	6ヵ月
北陸	テトラクロロエチレン と分解生成物	1,200	10	7,600	汚染源 酸化剤の攪拌混合工法 拡散域 酸化剤注入工法	○	4ヶ月
関西	テトラクロロエチレン と分解生成物	600	10	4,500	酸化剤注入工法	×	3ヵ月
関東	油分(ベンゼン)	2,500	8	15,000	化学酸化工法	×	12ヵ月
北海道	油分	3,900	4.5	15,500	化学酸化およびバイオスティミュレー ションのハイブリッド工法	×	現在進行中 (予定 12ヵ月)
中部	ベンゼン、ふっ素	2,000	3	6,000	酸化剤の攪拌混合工法 掘削除去 揚水	行政指導に基づいた 自主対策	6ヵ月
九州	ベンゼン、鉛、ふ っ素、砒素	2800	2	5,600	ランドファーマーミング 原位置封じ込め、アスファルト舗装	×	現在進行中 (予定 5ヵ月)
東北	鉛・六価クロム	256	2.0	312	掘削除去	行政指導に基づいた 自主対策	現在進行中 (予定 2年間)
	トリクロロエチレン と分解生成物 油分(TPH)	約 5,000	20	約 70,000	汚染源 酸化剤の攪拌混合工法 拡散域 化学酸化およびバイオステ ィミュレーションのハイブリッド工法		